

「工場で使える便利な通販」MonotaRO.com
10月23日(火)、「MonotaRO 第3 ディストリビューションセンター」
起式を開催
～稲村和美尼崎市長、吉田修尼崎商工会議所会頭をはじめ、関係者が多数列席～

工業用間接資材※1 通信販売最大手の株式会社 MonotaRO(モノタロウ)(本社:兵庫県尼崎市、代表執行役社長:鈴木雅哉、URL:<http://www.monotaro.com/>)が開発計画を進めており、2013年10月より本格稼働を予定している当社専用物流施設「MonotaRO 第3 ディストリビューションセンター」では、10月23日(火)に兵庫県尼崎市の当施設の開発予定地(兵庫県尼崎市西向島町75番地1)にて起工式が執り行われました。



写真:10月23日に開催された起工式

(左:稲村和美尼崎市長からのご挨拶、右:鈴木雅哉 MonotaRO 代表執行役社長からの挨拶)

MonotaROでは、2000年10月の設立当初から積極的に売上・利用ユーザー数を拡大し、2012年10月には取扱いアイテム数が200万点を突破するなど、業績拡大に伴い商品の取扱いを強化して参りました。今後、さらなる売上と利用ユーザー数の増大を見込み、現本社の近郊にて新しい物流センターを開発することを決定し、世界的な物流施設の所有・運営・開発を行っているプロロジスが新しく開発する「プロロジスパーク尼崎3」について賃貸契約を締結し、開発を進めております。

この度、稲村和美尼崎市長や吉田修尼崎商工会議所会頭、プロロジスの代表取締役社長山田御酒様、西松建設株式会社の代表取締役社長近藤晴貞様等、約50名の関係者の方にご出席いただき、「MonotaRO 第3 ディストリビューションセンター」の起工式が開催されました。

式典の中で、稲村和美尼崎市長から「歴史的に流通の要となってきた尼崎市が、近年物流拠点として再注目される中、この度の新施設をお迎えでき大変嬉しく思っている。市としても、事業者との連携や支援を通じて一緒に尼崎を盛り上げていきたい」と挨拶があり、本物流センター建設による地元貢献への感謝の言葉を述べていただきました。また、鈴木雅哉 MonotaRO 代表執行役社長は「創業12年目を迎え当社専用の物流施設を持つことができ、より多くのお客様のニーズにお答えできることを大変喜ばしく思っている。実際のセンターの稼働は2014年1月を予定しており、今後社員一丸となって努力し在庫商品を現在の約4倍となる30万点まで拡充し、売り上げの数倍規模の拡大を目指したい」と新物流センター着工の喜びと、更なる業務拡大への抱負を述べました。

現在稼働しております第1・第2物流センターでは、200万アイテムの取扱商品の中から、特に需要の高い商品を自社で在庫しておりますが、この度着工開始となる第3 ディストリビューションセンターでは、最大で現在の約4倍となる30万アイテムまで在庫可能となり、段階的に在庫商品数を増やしていく予定です。在庫商品は平日15時までのご注文で当日出荷となり、在庫商品数をさらに拡大することで、ご注文いただいた商品をユーザーへより迅速にお届けすることが可能となります。

当社では、今後も在庫商品を拡大し、スピーディな商品の配送と効率的な物流施設の運営を目指し、ユーザーの利便性の向上に努めて参ります。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社 MonotaRO IR・広報室 木原 TEL:06-4869-7190 pr@monotaro.com
広報担当 株式会社プラップジャパン 柏木、務台(むたい) TEL:03-4580-9105 monotaro@ml.prap.co.jp

※1 工業用間接資材とは、製造業の現場における資材のうち、最終製品になる原材料や部品などの“直接資材”を除く全ての資材を指し、切削工具や研磨材などの工作用資材から梱包・補修・清掃・安全・事務用品まで多岐にわたる。

「MonotaRO第3 ディストリビューションセンター」起工式の様子



起工式(神事)の様子



瀬戸欣哉 MonotaRO 代表執行役会長の玉串奉奠



吉田修尼崎商工会議所会頭からのご挨拶



山田御酒プロロジス代表取締役社長からのご挨拶

株式会社 MonotaRO会社概要 (2012年10月現在)

- 会 社 名: 株式会社 MonotaRO
(MRO とは: Maintenance, Repair & Operation、間接資材の意味)
- 代 表 者 名: 代表執行役会長 瀬戸 欣哉
代表執行役社長 鈴木 雅哉
- 設 立 年 月 日: 2000年10月19日
- 営 業 開 始 年 月 日: 2001年11月13日
- 本 社 所 在 地: 兵庫県尼崎市西向島町 231-2 GLP 尼崎 3F
- 物 流 セ ン タ ー:
- 第 1: 兵庫県尼崎市西向島町 231-2 GLP 尼崎内
 - (3階) : 24,428.82 m² (約 7,000 坪)
 - (4階) : 4,958.55 m² (約 1,500 坪)
 - 第 2: 宮城県多賀城市栄 2-1-1 プロロジスパーク多賀城 3F・4F
 - ・倉庫部分 : 8,346.32 m² (2,524.75 坪)
 - ・オフィス部分: 200.59 m² (60.67 坪)
- 主 な 事 業 内 容: インターネット等を利用した製造業・自動車整備業・建設・工業業向け
間接資材の販売 (10兆円市場)
- 主 な 顧 客 層: 製造業を中心とする全国約 84.1 万ユーザー(2012年10月現在)
(ユーザーの9割が100人以下の事業所)
- 資 本 金: 17億3,325万円(2012年6月30日現在)
- 従 業 員 数: 正社員 145名(パート・アルバイト・派遣社員含め 528名)(2012年9月末時点)
- ホ ー ム ペ ー ジ: <http://www.monotaro.com/>

「MonotaRO第3 ディストリビューションセンター」概要



※「MonotaRO 第3 ディストリビューションセンター」完成イメージ図

名 称	MonotaRO 第3 ディストリビューションセンター
所 在 地	兵庫県尼崎市西向島町 75 番地 1
敷地面積	約 19,972 m ² (約 6,042 坪)
計画延床面積	約 43,900 m ² (約 13,279 坪)
構 造	地上 4 階建
着工予定	2012 年 11 月
竣工予定	2013 年 9 月末
在庫可能商品点数	最大約 30 万アイテム(現在の約 4 倍)
主な取り扱いアイテム(カテゴリ)	全カテゴリ (梱包・物流・清掃・オフィス用品、切削・研磨/生産加工用品、作業工具/電動・空圧工具、FA・メカニカル部品、自動車・トラック・バイク・自転車用品、工事用品、科学研究・開発用品、安全衛生保護用品・標識)
主な機能・能力	・同時入出荷キャパシティ: 10 トントラック × 30 台 以上 ・入出荷キャパシティ: 100,000 入出荷 / 日 以上

■ 開設予定地

「MonotaRO 第3 ディストリビューションセンター」は関西の湾岸部の主要物流拠点エリアである兵庫県尼崎市、阪神高速道路・尼崎西インターチェンジより約 1km、名神高速道路・尼崎インターチェンジより約 5.4km の地点に立地する計画で、関西圏の主要な高速道路へのアクセスに優れており、さらに阪神電車出屋敷駅より約 210m と通勤にも至便な立地です。また、当社の本社内尼崎第 1 ディストリビューションセンターからもごく至近距離の為、管理および倉庫間の連携においても優位な立地です。

■ 施設計画概要

「MonotaRO 第3 ディストリビューションセンター」は約 20,000 平方メートルの敷地に地上 4 階建、延床面積約 44,000 平方メートルの施設として計画されています。各階に大型車両が直接アクセスできるランプウェイを設けることで、より効率的なオペレーションが可能となります。